

但馬管内の景気動向調査

2023年4～6月期実績・2023年7～9月期見通し

調査の概要

1. 回答数: 524 (前回: 499)
 2. 調査時点 2023年6月上旬
 3. 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聴取り調査
 4. 分析方法: ディフュージョン・インデックス(D.I.)
景気の各項目事項について、「増加」(良い)―「減少」(悪い)の構成比の差=判断 D.I.に基づく分析
- ※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が全国各地の信用金庫から調査した調査の結果を示している。



但馬信用金庫

2. 製造業（回答数89 前回88）

今回（2023年4～6期）の業況D. I. は△8. 0ptとなり前四半期比±0ptとなった。

売上額D. I. は±0ptと前四半期比で△14. 8ptの悪化、受注残D. I. は△2. 3ptと前四半期比で△4. 6ptの悪化となり、2023年7～9月期では更なる悪化予想となっている。

人手過不足D. I. は△20. 9ptと前四半期比で1. 8ptと改善しているが、2023年7～9月期では悪化予想となっており、人手不足感が依然として増減を繰り返し、解消に至っていないものと予想される。

次回（2023年7～9期）の業況D. I. は、△9. 1ptと僅かに悪化の見通しとなっている。

製造業	2023年4～6月期実績	前四半期比	
		前四半期比	2023年7月～9月期予想
業況D. I.	△ 8.0	0.0	△ 9.1
前年同期比売上額D. I.	21.6	4.5	-
前年同期比収益D. I.	10.2	9.1	-
売上額D. I.	0.0	△ 14.8	1.1
受注残D. I.	△ 2.3	△ 4.5	△ 6.8
収益D. I.	△ 2.3	△ 4.5	△ 2.3
販売価格D. I.	22.7	△ 12.5	11.4
原材料価格D. I.	63.6	△ 3.4	42.0
原材料在庫D. I.	11.5	6.9	4.6
資金繰りD. I.	△ 9.1	2.3	△ 9.1
借入金の難易度D. I.	△ 2.3	△ 5.8	-
前期比残業時間D. I.	△ 1.1	△ 4.5	0.0
人手過不足D. I.	△ 20.9	1.8	△ 23.8
現在の設備D. I.	△ 13.6	4.8	-
設備投資D. I.	23.9	0.0	-
来期設備投資D. I.	25.0	4.5	-

3. 建設業（回答数106 前回102）

今回（2023年4～6期）の業況D. I. は△14. 7pt。前四半期比で4. 9ptの悪化となった。

収益面の4項目のうち売上額D. I. と収益D. I. が改善し、受注残D. I. と施行高D. I. ついては悪化した。請負価格D. I. は増加しており、原材料費等の高騰による影響が窺える。

人手過不足D. I. は、近年の外国人労働者数の増加などから△16. 8ptと前四半期比4. 4pt改善となった。

次回（2023年7～9期）の業況D. I. は△13. 7と僅かに改善の見通しとなっている。

建設業	2023年4～6月期実績	前四半期比	
		前四半期比	2023年7月～9月期予想
業況D. I.	△ 14.7	△ 4.9	△ 13.7
前年同期比売上額D. I.	0.0	8.8	-
前年同期比収益D. I.	△ 11.9	1.8	-
売上額D. I.	△ 1.0	6.9	2.0
受注残D. I.	△ 11.8	△ 5.9	△ 1.0
施工高D. I.	△ 5.9	△ 2.9	4.9
収益D. I.	△ 13.7	4.9	0.0
請負価格D. I.	21.6	2.0	16.7
材料価格D. I.	61.4	△ 5.9	42.6
在庫D. I.	1.0	3.0	1.0
資金繰りD. I.	△ 13.7	△ 3.9	△ 16.7
借入金の難易度D. I.	△ 8.8	0.2	-
前期比残業時間D. I.	0.0	8.8	△ 1.0
人手過不足D. I.	△ 16.8	4.4	△ 14.9
現在の設備D. I.	△ 3.9	2.9	-
設備投資D. I.	22.5	5.9	-
来期設備投資D. I.	22.5	2.0	-

4. 卸売業（回答数57 前回58）

今回（2023年4～6期）の業況D. I. が△8. 8ptとなり、前四半期比で3. 7ptと大幅な改善となった。

売上額D. I. は前四半期比で△1. 8ptと僅かに悪化した
が、収益D. I. は前四半期比3. 7pt改善した。

人手過不足D. I. は、前四半期比で11. 4pt悪化し、人手不足感が一層高まっている。販売や仕入価格については、昨年12月から高止まりし、減少傾向にある。

次回（2023年7～9期）の業況D. I. は△12. 3ptと悪化の見通しとなっている。

卸売業	2023年4～6月期実績		2023年7月～9月期予想
		前四半期比	
業況D. I.	△ 8. 8	3. 7	△ 12. 3
前年同期比売上額D. I.	10. 3	△ 12. 5	-
前年同期比収益D. I.	5. 2	6. 9	-
前年同期比販売価格D. I.	44. 8	9. 7	-
売上額D. I.	0. 0	△ 1. 8	△ 1. 7
収益D. I.	△ 8. 6	3. 7	△ 13. 8
販売価格D. I.	20. 7	△ 5. 6	19. 0
仕入価格D. I.	46. 6	△ 4. 3	41. 4
在庫D. I.	1. 7	△ 3. 5	1. 7
資金繰りD. I.	△ 20. 7	△ 1. 4	△ 19. 0
借入金の難易度D. I.	△ 10. 9	△ 1. 6	-
前期比残業時間D. I.	0. 0	1. 8	△ 1. 7
人手過不足D. I.	△ 20. 4	△ 11. 4	△ 20. 4
現在の設備D. I.	△ 17. 2	△ 6. 7	-
設備投資D. I.	19. 0	△ 7. 4	-
来期設備投資D. I.	20. 7	△ 7. 4	-

5. 小売業（回答数86 前回82）

今回（2023年4～6期）の業況D. I. は△18. 3ptと前四半期比8. 5ptの改善となった。

売上額D. I. から在庫D. I. までの収益項目は全て悪化となった。販売価格D. I. や仕入価格D. I. は2022年の下期にかけて高止まりし、卸売業と同様に減少傾向にある。

次回（2023年7～9期）の業況D. I. は△13. 4ptと改善見込の見通しとなっている。

小売業	2023年4～6月期実績		2023年7月～9月期予想
		前四半期比	
業況D. I.	△ 18. 3	8. 5	△ 13. 4
前年同期比売上額D. I.	22. 0	9. 8	-
前年同期比収益D. I.	2. 4	6. 1	-
前年同期比販売価格D. I.	41. 5	△ 6. 1	-
売上額D. I.	△ 14. 6	△ 3. 7	1. 2
収益D. I.	△ 22. 0	△ 1. 2	△ 7. 3
販売価格D. I.	23. 2	△ 4. 0	18. 3
仕入価格D. I.	40. 2	△ 4. 9	31. 7
在庫D. I.	3. 7	△ 1. 2	1. 2
資金繰りD. I.	△ 9. 8	9. 8	△ 9. 8
借入金の難易度D. I.	△ 13. 6	△ 1. 1	-
前期比残業時間D. I.	△ 3. 7	△ 1. 2	△ 3. 7
人手過不足D. I.	△ 10. 0	△ 3. 8	△ 8. 8
現在の設備D. I.	△ 11. 0	1. 2	-
設備投資D. I.	8. 5	1. 2	-
来期設備投資D. I.	14. 6	△ 1. 2	-

6. 不動産業（回答数19 前回16）

今回(2023年4～6期)の業況D. I. は△6. 3ptとなり、前四半期比9. 1ptの改善となった。

売上額D. I. は6. 3ptと前四半期比で13. 9pt改善した。同時に販売価格D. I. 、仕入価格D. I. 、在庫D. I. も増加しており、販売・仕入価格の高騰と慢性的な在庫不足が解消となった。

次回(2023年7～9期)の業況D. I. は△6. 3ptとなっており、現状維持の見通しとなっている。

不動産業	2023年4～6月期実績	前四半期比	2023年7月～9月期予想
業況D. I.	△ 6.3	9.1	△ 6.3
前年同期比売上額D. I.	12.5	20.2	-
前年同期比収益D. I.	△ 6.3	9.1	-
売上額D. I.	6.3	13.9	6.3
収益D. I.	△ 6.3	1.4	△ 6.3
販売価格D. I.	0.0	7.7	0.0
仕入価格D. I.	25.0	9.6	25.0
在庫D. I.	6.3	6.3	6.3
資金繰りD. I.	△ 25.0	△ 9.6	△ 25.0
借入金の難易度D. I.	△ 25.0	△ 15.9	-
前期比残業時間D. I.	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.3
人手過不足D. I.	△ 6.3	2.1	0.0

7. サービス業（回答数167 前回153）

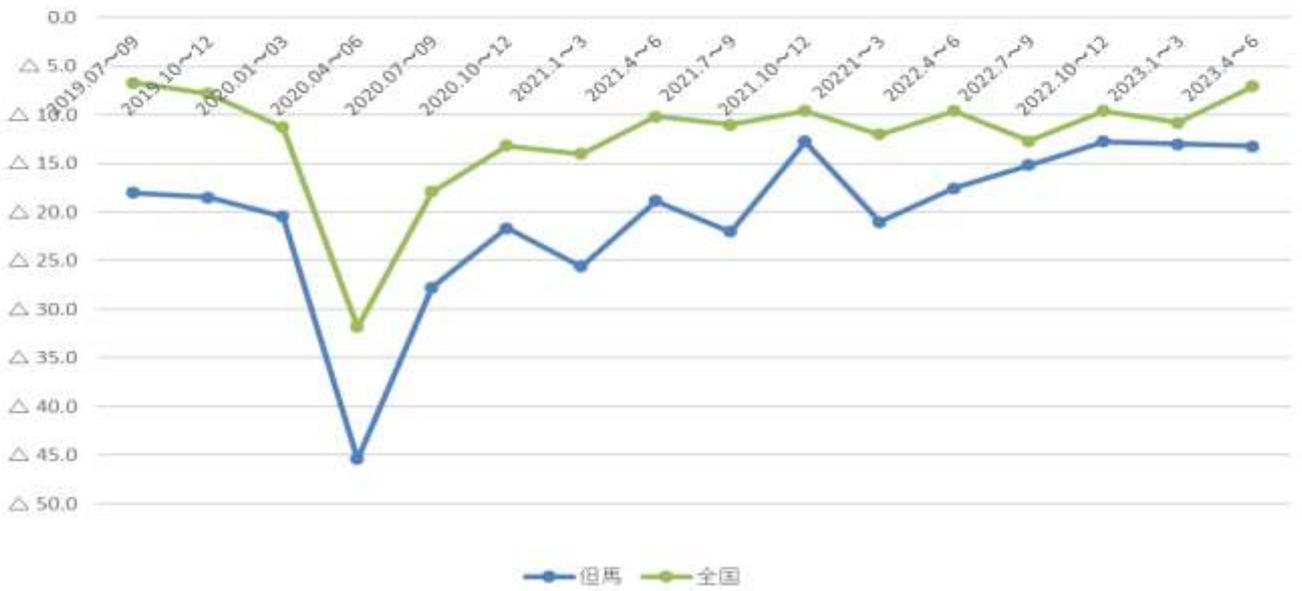
今回(2023年4～6期)の業況D. I. は△6. 5ptと前四半期比から△5. 9ptの悪化となった。

売上額D. I. が△8. 6ptと前四半期比△18. 3pt悪化し、収益D. I. も△13. 2ptと前四半期比△21. 1pt悪化となった。対象業種に宿泊業種が多く、前四半期と比較するとハイシーズンが終了しており、閑散期に入ったことから、料金価格D. I. は△23. 4pt減少、材料価格D. I. も前四半期比△11. 0ptと落ち着いてきている。

次回(2023年7～9期)の業況D. I. は△3. 9ptと夏季シーズンに入ることから改善見込の見通しとなっている。

サービス業	2023年4～6月期実績	前四半期比	2023年7月～9月期予想
業況D. I.	△ 6.5	△ 5.9	△ 3.9
前年同期比売上額D. I.	34.4	5.8	-
前年同期比収益D. I.	28.5	6.5	-
売上額D. I.	△ 8.6	△ 18.3	16.4
収益D. I.	△ 13.2	△ 21.1	11.2
料金価格D. I.	5.3	△ 23.4	24.3
材料価格D. I.	41.4	△ 11.0	44.7
資金繰りD. I.	△ 13.8	△ 2.8	△ 4.6
借入金の難易度D. I.	△ 13.9	△ 5.9	-
前期比残業時間D. I.	3.9	△ 0.3	4.6
人手過不足D. I.	△ 16.6	4.6	△ 15.2
現在の設備D. I.	△ 17.6	△ 0.7	-
設備投資D. I.	20.3	4.5	-
来期設備投資D. I.	25.5	4.3	-

資金繰りDI



前年同期売上DI

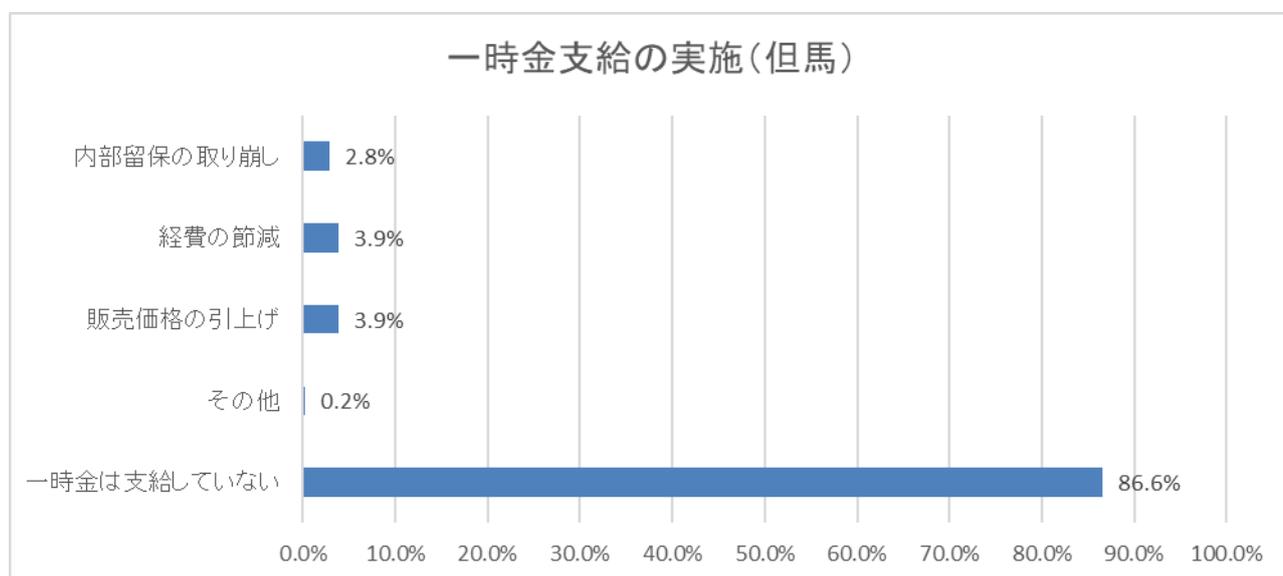
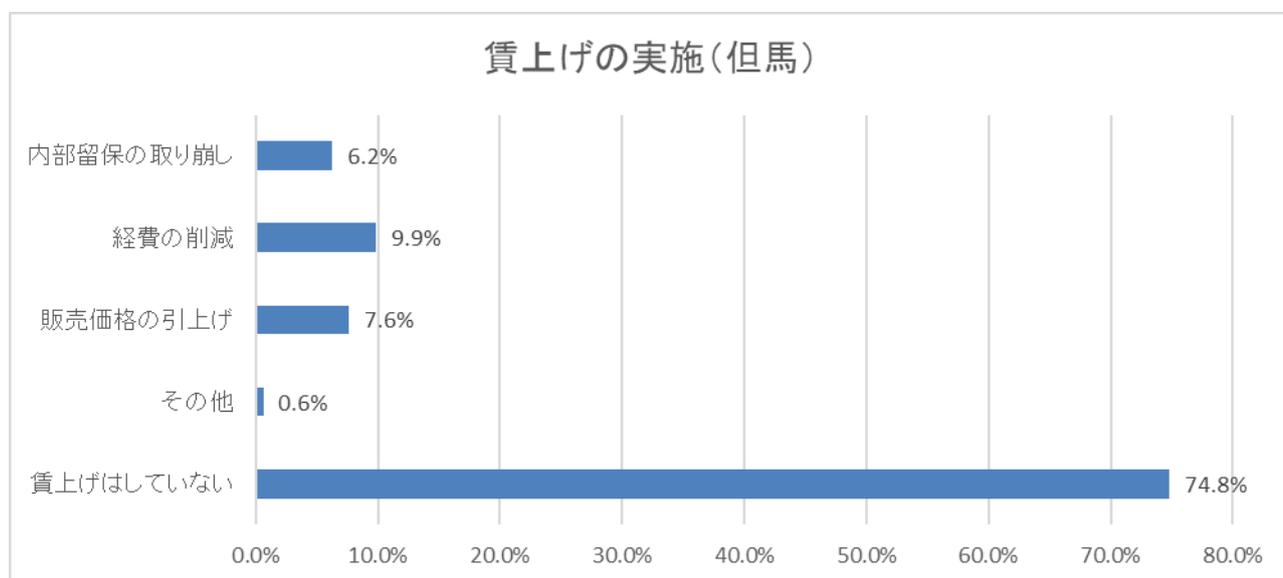


《特別調査》「アフターコロナと中小企業」

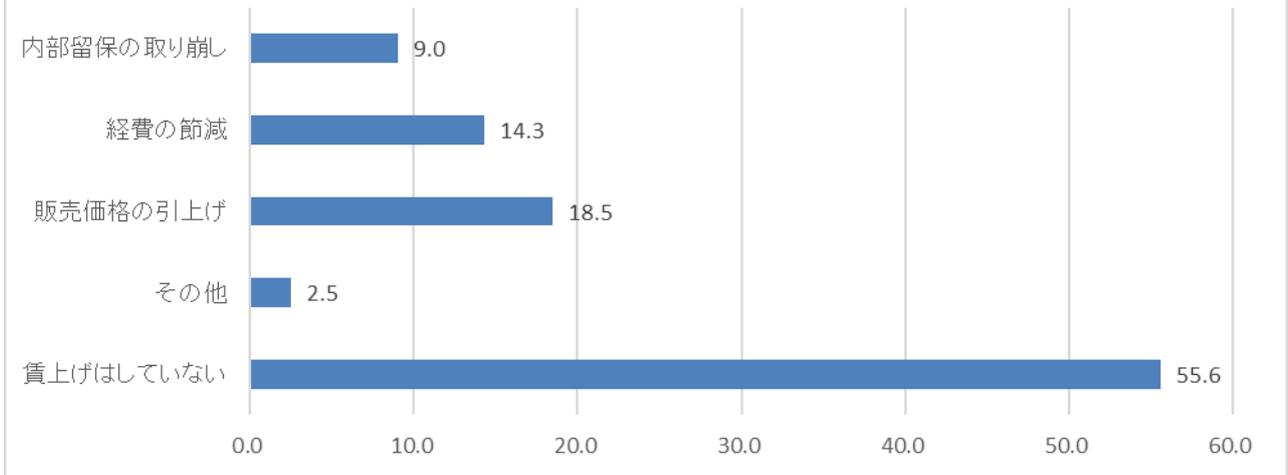
問1. 政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか。賃上げをした方は、その原資について1～4から、一時金の支給をした方は、その原資について6～9の中から選んでお答えください。賃上げや一時金の支給をしていない方は、5、0とお答えください。

賃上げに向けての対応は、『賃上げはしていない』の回答は但馬74.8%に対して全国55.6%となった。『販売価格の引上げ』の回答は但馬7.6%に対して全国18.5%となり、全国と比較すると但馬は賃上げに向けての対応に差がでている。

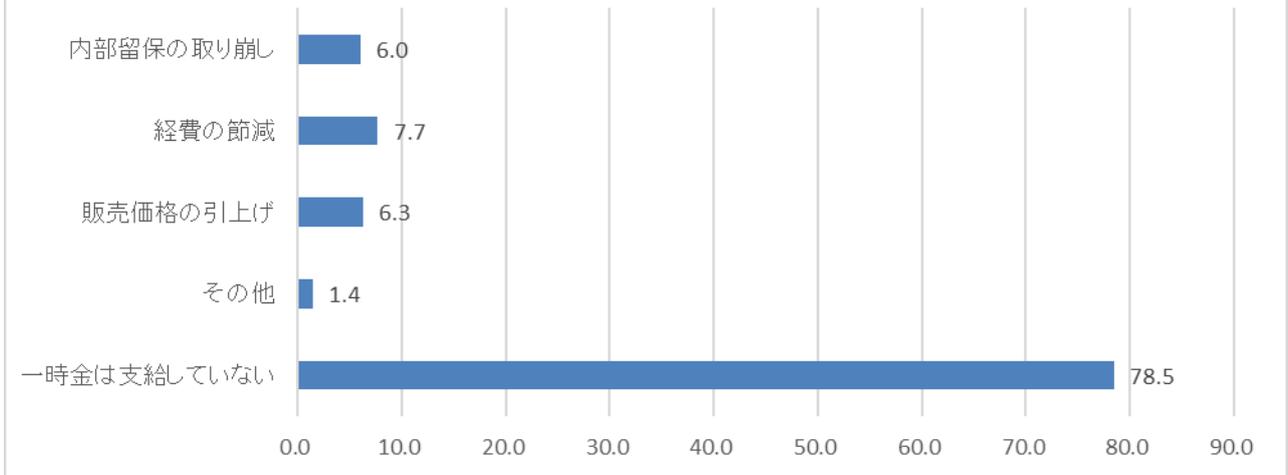
一時金支給に向けての対応は、『一時金は支給していない』の回答は但馬86.6%に対して全国78.5%となった。また、『販売価格の引上げ』『経費の節減』『内部留保の取り崩し』は但馬、全国共に僅かに差はあるものの、同程度の結果となった。



賃上げの実施(全国)

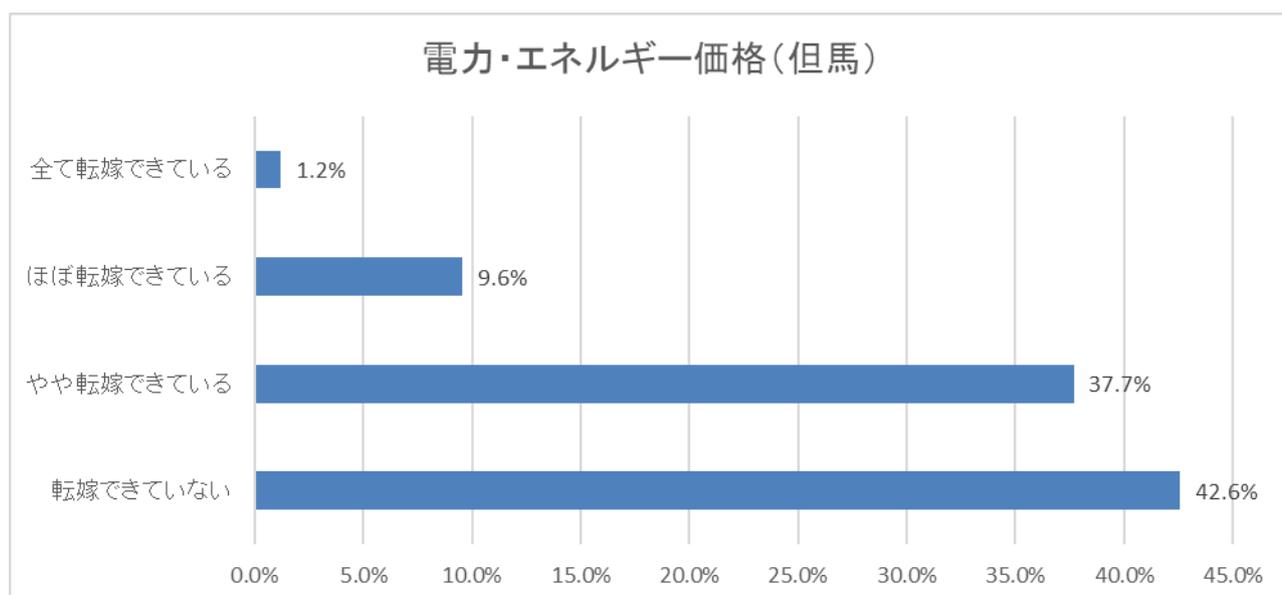
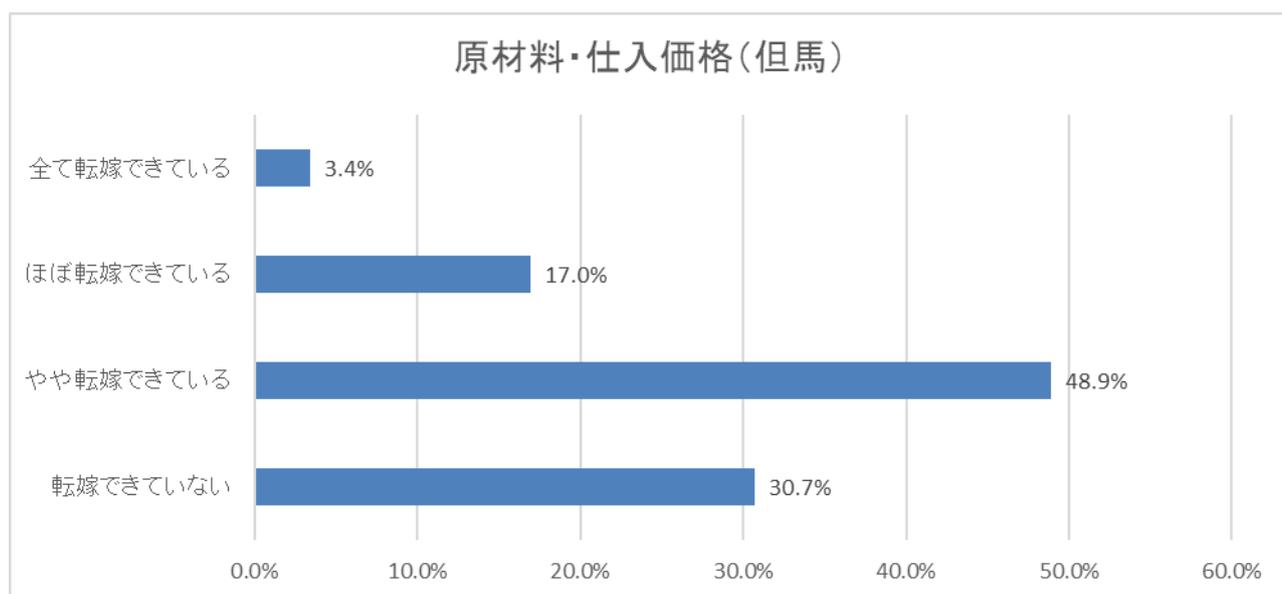


一時金支給の実施(全国)

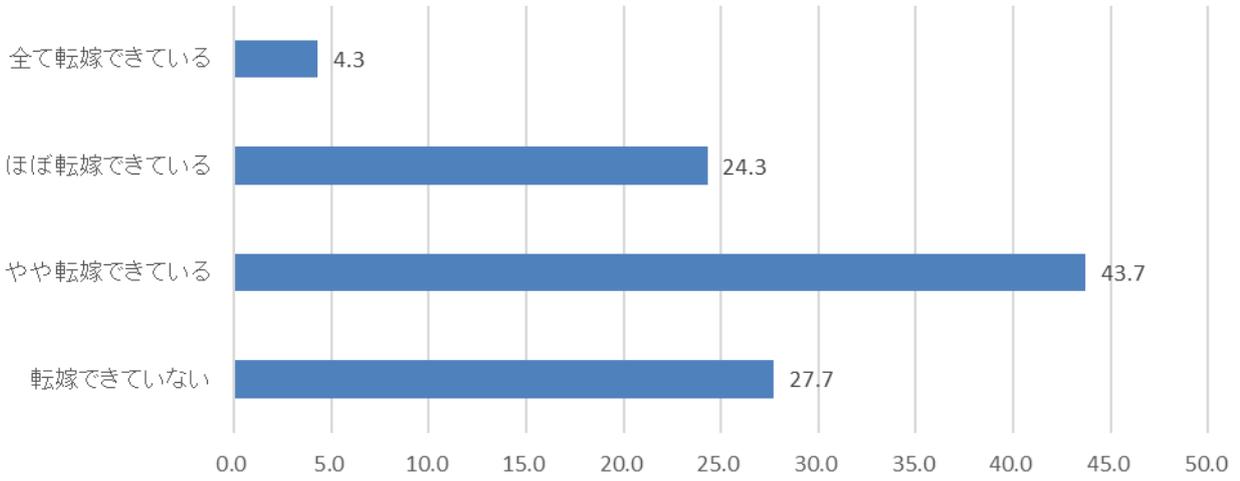


問2. 貴社では、昨今の原材料・仕入価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁(上乘せ、値上げ) できていますか。「原材料・仕入価格」については1～4から、「電力・エネルギー価格」については5～8からそれぞれお答えください。

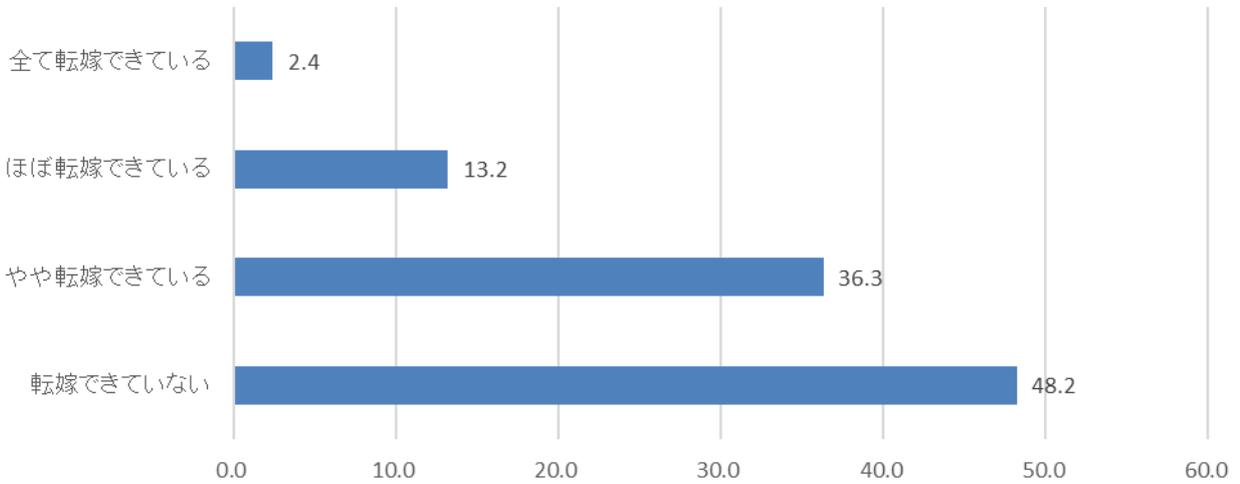
『原材料・仕入価格』については、但馬・全国共に『やや転嫁できている』の回答数が一番多く、次いで『転嫁できていない』の順番となった。しかしながら、『ほぼ転嫁できている』の割合は但馬17.0%に対して全国24.3%と乖離のでた結果となった。また、『電力・エネルギー価格』については、但馬・全国共に類似した結果となった。



原材料・仕入価格(全国)

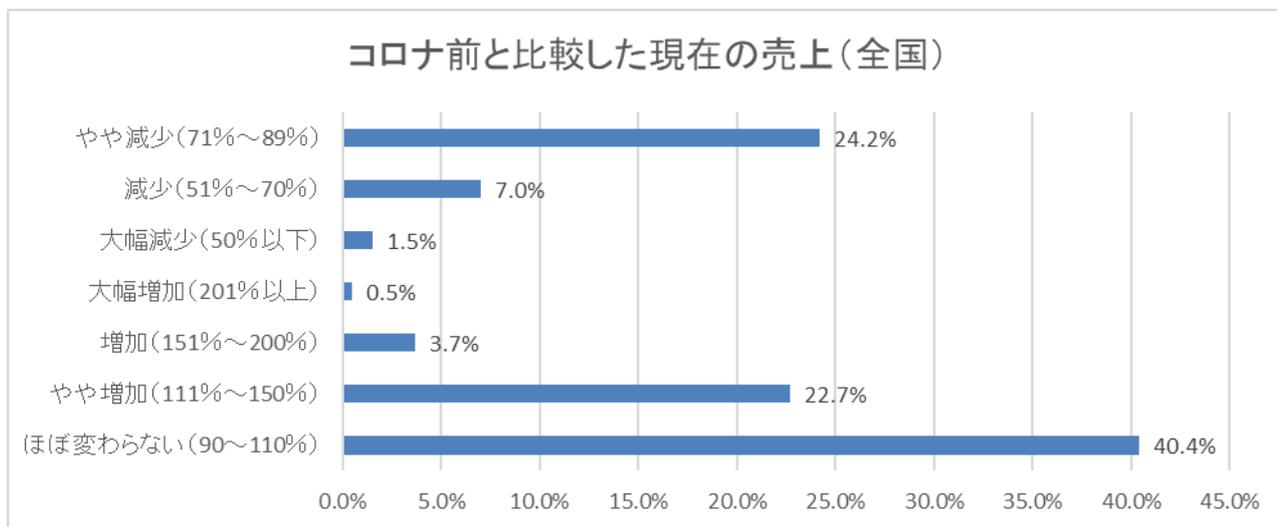
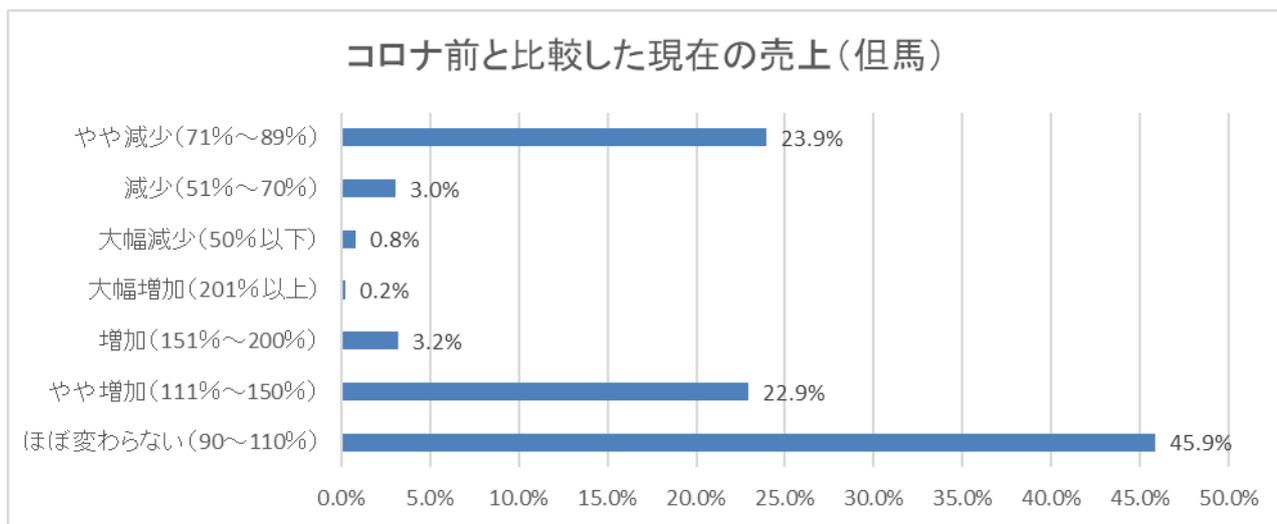


電力・エネルギー価格(全国)



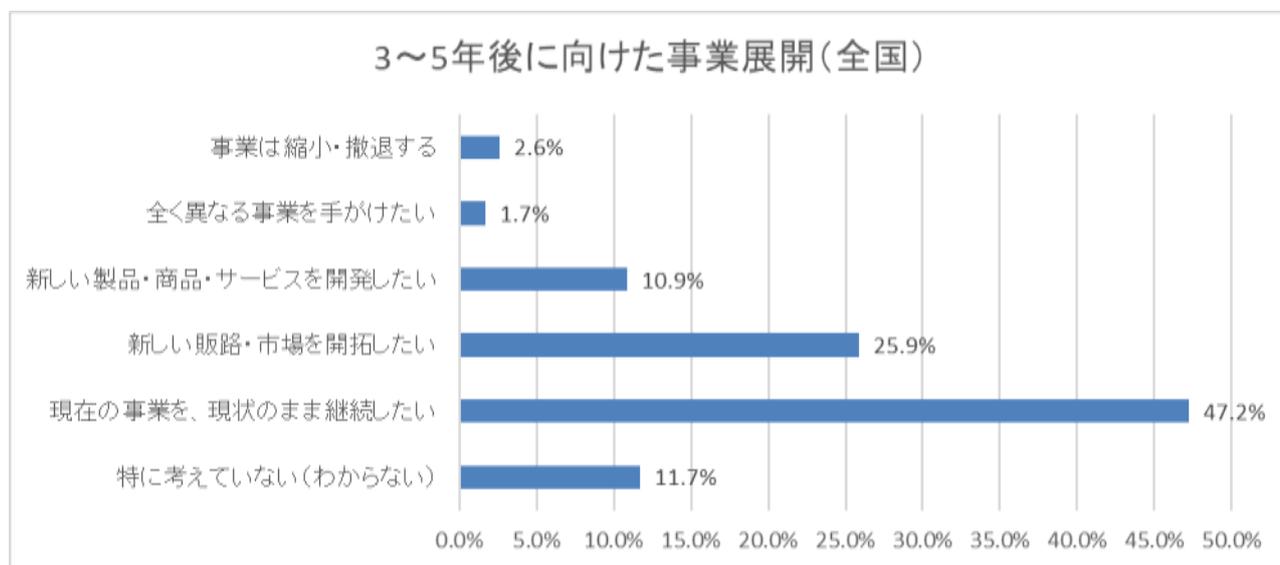
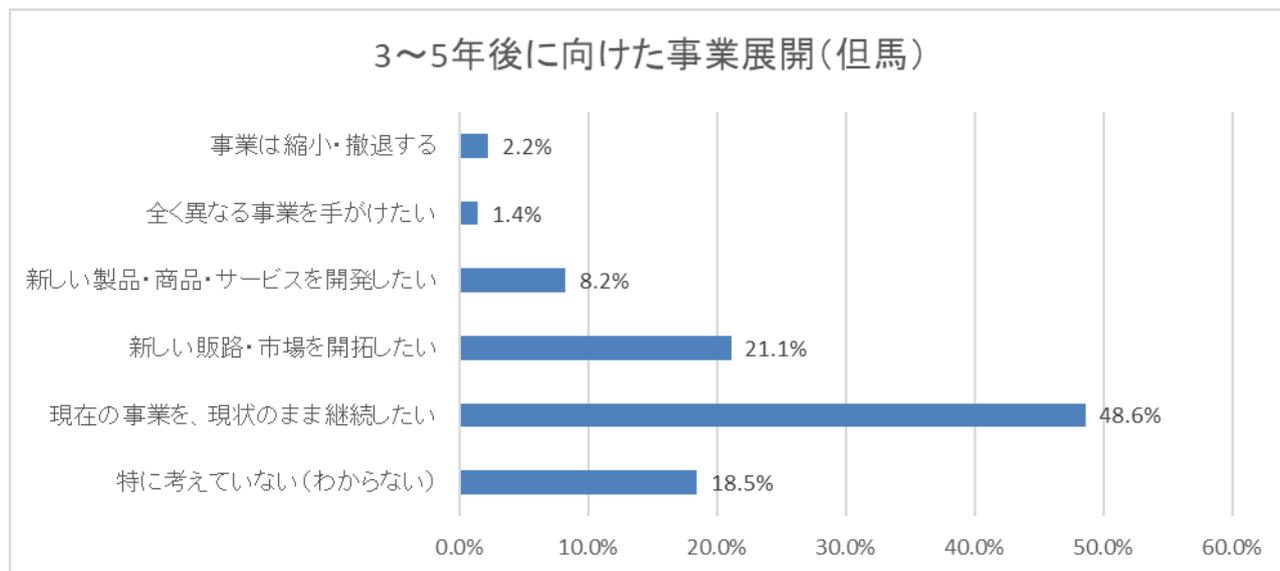
問. 3 新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売上について、感染拡大前(およそ3年前) と比べ、どの程度となっていますか。次の中から1つ選んでお答えください。

コロナ前と比較した現在の売上については、『ほぼ変わらない』が、但馬45.9%、全国40.4%となった。『やや増加』『増加』『大幅増加』以上の回答が但馬26.3%、全国26.9%ある中で、『やや減少』『減少』『大幅減少』以上の回答は但馬27.7%、全国32.7%となり、新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行後、消費活動が再開した今でもコロナ前よりも落ち込みしている先が但馬・全国共に3割程度見られる結果となった。



問4. 貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。右の図も参考に、以下の1～6の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

3～5年後に向けた事業展開については、但馬・全国共に類似した結果となったが、『特にかんがえていない(わからない)』の回答が但馬18.5%、全国11.7%と6.8%の乖離となった。『新しい製品・商品・サービスを開発したい』『新しい販路・市場を開拓したい』など、意欲的な項目について、僅かではあるが全国のほうが上回る結果となった。



問5. 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

人材確保のための改善実施策としては、『賃上げ等、待遇の改善』の回答が但馬34.3%、全国41.7%となった。次いで『ワークライフバランスの充実(長時間労働是正等)』の回答が但馬18.5%、全国22.2%となった。人材確保に向けた課題解決には、但馬・全国ともに実施すべき施策の優先順位は同様のものとなった。

